

ぐんま川便り

●ニューズレター●

令和2年6月9日

第58号

群馬県河川協会 発行
(事務局：群馬県河川課)

NEWS

みなかみ町(利根川)が“かわまち”に登録されました!

昨年3月、県が管理する河川としては初めて、みなかみ町の「かわまちづくり(通称“かわまち”)計画」が国土交通省の支援制度に登録されました。

現在、この「かわまち計画」に沿って『水辺(かわ)と温泉街(まち)を活用した利根川源流と人がふれあうまちづくり』を目標に、地元住民の皆さんとみなかみ町、県が協力して、河川を活かした地域の賑わいの場づくりを進めています。計画にある3つのエリア(道の駅水紀行館・水上温泉街・JR水上駅)のうち、県では「道の駅水紀行館エリア」の緩傾斜護岸などを整備していきます。



▲ 道の駅水紀行館・清流公園の整備イメージ

より自由で魅力的な河川空間に!



また、整備に先立ち、昨年5月には民間事業者の皆さんが河川の敷地を利用して営利活動を行えるよう、利根川の河川敷を河川法の特例である「都市・地域再生等利用区域」に指定しました。

区域の指定を受けて、昨年度には「アウトドアフェスティバル」「かわまちピアガーデン」などのイベントが開催され、多くの方が、川のせせらぎを感じながら、食事やコミュニケーションを楽しまれました。

◀ 道の駅に隣接する清流公園(利根川河川敷)では、様々なイベントが実施されています。(写真はアウトドアフェスティバルの様子)

地域活性化の拠点として期待!

こうした動きとも相まって、道の駅に隣接する温泉街の入口付近に、複合商業施設が今年3月1日にオープンしました!

商業施設にはカフェやレストラン、アウトドアショップなどが入り、道の駅と温泉街をつなぐ役割が期待されています。かわまちづくりを含めた様々な動きが、県内有数の観光地であるみなかみ町の新たな魅力になっていくことと思います!

今後も、民間事業者の皆さんの力もお借りしながら、住民・町・県で連携を図り、みなかみ町の賑わい創出に向けて取り組んでいきます。道の駅の整備はこれからですが、引き続きイベントの開催も予定されていますので、ぜひ足を運んでいただき、みなかみ町の新たな魅力を感じてみてください!

(河川課河川管理係・川づくり係)



◀ 木の温もりが感じられるお洒落なレストラン。利根川で行われるラフティング体験を眺めながら、地元産の肉や野菜の料理が楽しめます。

REPORT

ハツ場ダムが完成!! ～観光スポットが順次オープン～



令和2年3月23日撮影

完成したハツ場ダム（下流から上流を臨む）

令和2年3月31日、国土交通省が建設を進めていたハツ場ダムが、調査開始から68年の歳月を経て完成し、4月1日から本格運用が開始されました。

本格運用に先立ち、新たに誕生するダム湖の名称の公募が行われ、約1,000件の応募の中から「ハツ場あがつま湖」と命名されました。これから、アウトドアなどで多くの方に利用される、親しみのある湖となっていくことと思います。

また、ハツ場ダム周辺には、おすすめの観光スポットがたくさんあります。歴史ある川原湯温泉に加え、新たに「ハツ場あがつま湖」ができた長野原町では、キャンプやバーベキューが楽しめるアウトドア施設、湖を周遊する水陸両用バスなどを整備中です。名勝「吾妻峡」を有する東吾妻町では、廃線を利用した自転車型トロッコから見える吾妻渓谷の素晴らしい景色や、道の駅「あがつま峡」で地産グルメを楽しむことができます。

このほかにも、たくさんのお見どころが続々とオープンしますので、是非、皆さんも魅力あふれるハツ場エリアへお越しください！

（特定ダム対策課）



キャンプ・バーベキュー施設（整備中）



水陸両用バス（整備中）

令和元年東日本台風(台風第19号)による 公共土木施設の被害状況

昨年10月12日から13日にかけて関東地方・東北地方を通過した令和元年東日本台風(※)は、西毛・吾妻地域を中心に24時間雨量が300ミリを上回る記録的な豪雨となり、4名の方の尊い命が失われたほか、多くの住家被害等が発生しました。

また、県や市町村が管理する河川・道路などの公共土木施設についても、700を超える箇所で大被害が発生しました。

これまでに、全ての被災箇所の現地調査、国による災害査定を終え、早期復旧に向けて順次工事に着手しています。

なお、河川で護岸の崩落が多く発生しましたが、それぞれの箇所では被災のメカニズムを分析し、再度被災しないような工法で復旧を行っていきます。



崩落した
河川護岸の状況



令和元年東日本台風では、豪雨による河川の水位上昇により、県内の10河川で、自治体が避難勧告を発令する目安となる「氾濫危険水位」を超過しました。

群馬県においては堤防の決壊は発生しませんでした。全国では140箇所以上の堤防が決壊する甚大な被害となり、激甚災害に指定されました。



一級河川 鍋川 (高崎市吉井町)
岩崎水位観測所の出水状況
(10月12日17時頃)



同じ箇所の普段の状況

※令和元年東日本台風

→ 令和元年に顕著な災害をもたらした台風第19号について、気象庁が名称を定めました。

パトロールや応急対応等から調査・測量・設計、災害査定対応まで、多くの方々に御尽力いただいたおかげで、令和元年に被災した全ての箇所の災害査定を終了することができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。
(河川課水害対策室防災係)



防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を実施しています!



対策前



対策後

▲ 樹木伐採の様子（井野川）

繁茂する樹木の伐採とともに除根を行うなど再繁茂防止に努めています。



対策前



対策後

▲ 河道掘削の様子（柳瀬川）

魚類などの生息の場を保全するため、瀬と淵に配慮しながら土砂の撤去を行います。

激甚な災害により全国で大きな被害が頻発している状況を踏まえ、国において、平成30年に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が決定されました。本県においても、河川の中に堆積した土砂の掘削や樹木の伐採、河川の状態を監視する水位計やカメラの設置などを緊急的に進めています。

河川内への土砂の堆積、樹木の繁茂は、もとの川が有していた「水を流せる断面」を狭めることとなり、大雨の際に水位の上昇を招き、氾濫の危険性を高めます。このため「3か年緊急対策」では、土砂の堆積、樹木の繁茂状況を総点検した結果、氾濫の危険性が高いことが明らかとなった河川の河道掘削・樹木伐採を進めており、昨年度末までに54河川の対策が完了しました。

今後も定期的に点検やモニタリングを実施し、適切な管理を心がけていきたいと思っております。

(河川課川づくり係)

県内44ダムと連携した「ぐんまダムかるた」～DC特別企画～

◆群馬DC (デスティネーションキャンペーン) とは?

群馬DCは、2020年4月～6月の3ヶ月間、群馬県内の市町村や観光関係者と全国のJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーンです。『心にググッとぐんまわくわく 体験 新発見』をテーマに、全国に誇る温泉や自然、歴史・文化遺産、グルメなど群馬の魅力を発信しています。

◆「ぐんまダムかるた」DC特別企画

群馬県は利根川の最上流に位置する水源県であり、県内には数多くのダムが存在します。これらのダムを観光資源として活かすとともに、ダムの役割や魅力を知っていただくため、県内すべてのダムを対象とした「ぐんまダムかるた」を作成しました。ダムの情報がわかる絵札とダムの特徴を詠った読み札の2枚1組、全44種類となっています。この機会に多くの方にダムや水源地域を訪れ、「ぐんまダムかるた」を入手していただきたいと思っています。すべて集めるとダムへの理解もググッと深まることは、間違いありません。

※令和2年4月1日から予定していた「ぐんまダムかるた」の配布は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期しています。最新情報は、群馬県HP（「ぐんまダムかるた」で検索）に随時掲載しますのでご確認ください。

「ぐんまダムかるた」の例

絵札



読み札



(河川課水害対策室防災係)

* あとがき *

ニュースレターへの掲載希望や、ご意見・ご質問がございましたら、下記送付先までご連絡ください。河川愛護活動や川づくりへの取り組みに関する情報を特に募集しております。

【送付先】群馬県 県土整備部 河川課 河川管理係 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

TEL : 027-226-3612 / FAX : 027-224-1368 / E-mail : kasenka@pref.gunma.lg.jp

